

We are 6次化生活!

Rotujita Seikatsu!

GFP 農林水産省 農産物加工推進プログラム × 6次産業化

輸出に取り組み 6次化事業者

世界に羽ばたく6次化商品
6次産業化アワード受賞者紹介
利益の出る商品作り

1個人ではなく、
100個人を見据えた
農林水産業へ!

6次産業化 地産地消



半田市議会議員 こいで 義の 市政あれこれ

53



発行日:2022年1月1日

発行所:愛知県半田市瑞穂町 5-3-18

消費拡大は生産者の多角経営から農商工との地域連携で…

2011年に、地域資源を活用して事業を創出する「6次産業化法」が施行され、半田市においても、プリオ・黒牛の里などの生産者が加工・店舗販売・レストラン経営に事業拡張した事例があります。個々の事業の成功にとどめず、地域経済へ影響を及ぼすような行政施策が必要です。

地域資源の再確認から…

半田市では、乳牛4千頭・肉牛8千頭・豚7千頭・鶏56万羽が飼育されています。県下有数の畜産地帯ですが、地元での消費が限られています。流通の改善に目を向け、課題解消が必要です。特に牛乳は、数年前にみどり牛乳が廃業したため、市外の事業者が製品化しています。市内に加工施設を作って個性豊かな商品づくりをすることは如何でしょうか。

水稻・畑作は、生産効率の良い圃場が少ないという条件はありますが、有機野菜や観光農園など付加価値の高い作物を栽培するなどの方法もあります。それぞれ課題はあるものの、新たな産業として定着するポテンシャルを秘めています。



情報交換のためのプラットフォームづくりから…

6次産業化における付加価値の高めかたは、生産者のみならず農商工含め有機的な連携で取組む必要があります。そのためには、情報共有と創意工夫のできるプラットフォームが必要です。カテゴリ毎の分科会を立上げ、新たな商品作りを進めましょう。

そして地産地消を推進する販路が必要です。地元で地産地消推進店舗を募集しては如何でしょうか。販路は、スーパーマーケットや飲食店、食品メーカーや学校給食などが期待できます。販路の拡大に向けた商品開発も必要になりますが創意工夫が活力になるはずですよ。



もういちど国政を考えましょう



政党ではなく人物で選ぶ…
 昨年10月の衆議院議員選挙では、ばんの豊さんが比例区で当選しました。一緒に街頭活動をさせて頂き、改めて国会議員に相応しい方だと確信しました。これからの活躍に期待しています。

国政には物申したいことが沢山あります。国政こそ国民に寄り添うものでなければなりません。子どもを安心して生み育てられる環境、自殺者が毎年2万人を超えてしまうような諸問題を解決する政治が必要だと思っています。



今年も参議院選挙があります。国民と同じ目線で問題意識を持った方を選ばなければ改善・解決ができません。この6年間の諸活動からも、参議院議員として伊藤たかえさんを再選できるよう応援してまいります。ご理解ご支援をお願いします。



◆ 掲 示 板

知多酪農発祥の地・半田市
 知多酪農の発祥は半田市です。明治14年頃、四代目中埜又左衛門が御幸町で酪農を始め、ミツカン牛乳を販売したのが知多の酪農の始まりです。やがて牧場に隣接して武豊線半田停車場が開設され、明治三十二年には柘町へ移転しました。その後、乳牛の飼育は知多半島全域に拡がり、有数の酪農地帯へと発展してまいりました。



生ごみはプランターで牛ふん堆肥と混ぜると分解できます。お試ください。最初だけ、少し匂いがあります。



ホームページは <http://koide-handa.com> でご覧になれます。

